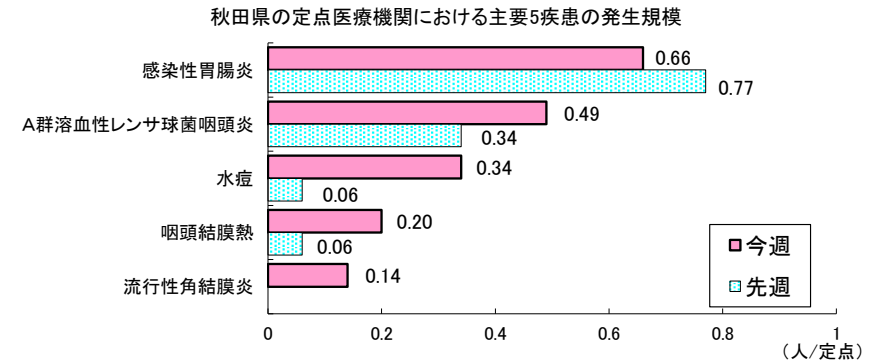




【第1週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で14%減少しています。保健所別では、北秋田、由利本荘、大仙、湯沢で増加、秋田市、大館、能代、秋田中央で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.4倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、大仙、横手で増加、能代、秋田中央、由利本荘で減少しています。
3. 水痘は、県全体で5.7倍に増加しています。保健所別では、大館、能代で増加、由利本荘、湯沢で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第53週	第1週	増減	第53週	第1週	増減	第53週	第1週	増減	第53週	第1週	増減	第53週	第1週	増減	第53週	第1週	増減	第53週	第1週	増減	第53週	第1週	増減	第53週	第1週	増減			
RSウイルス感染症																														
インフルエンザ	0.02		↘	0.09		↘																								
咽頭結膜熱	0.06	0.20	↗	0.14	0.29	↗												0.25		↘						1.25	↗			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.34	0.49	↗	1.00	1.29	↗		0.25	↗				0.33		↘	0.75	0.50	↘	0.25		↘		1.00	↗	0.33	↗				
感染性胃腸炎	0.77	0.66	↘	0.86	0.57	↘	2.75	1.00	↘		0.50	↗	1.00	0.67	↘	1.50	0.75	↘		0.50	↗	0.25	1.25	↗			0.50	↗		
水痘	0.06	0.34	↗					2.75	↗					0.33	↗				0.25		↘					0.25	↘			
手足口病	0.03	0.06	↗		0.14	↗												0.25	0.25											
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.09	0.11	↗	0.14	0.29	↗	0.25		↘				0.33	0.33					0.25	↗										
ヘルパンギーナ	0.09	0.03	↘	0.29		↘																0.25	0.25							
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*								*	*				
流行性角結膜炎		0.14	↗		0.33	↗				*	*		*	*		*	*								*	*				
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大館保健所管内1人、湯沢保健所管内1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内1人、報告されました。
- ・指定感染症の新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内1人、大館保健所管内1人、北秋田保健所管内1人、能代保健所管内10人、秋田中央保健所管内3人、由利本荘保健所管内1人、横手保健所管内2人、湯沢保健所管内6人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	2020年 (人)		
		1週-53週 全国	1週 秋田	1週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	17108	90	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	1		
	細菌性赤痢	87		
	腸管出血性大腸菌感染症	3064	98	
	腸チフス	21		
	パラチフス	7		
四類	E型肝炎	450	2	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	119		
	エキノコックス症	23		
	黄熱			
	オウム病	6		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	15		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病	1		
	コクシジオイデス症	6		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	1		
	重症熱性血小板減少症候群	78		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	タニ媒介脳炎			
	炭疽			

(人)

類型	疾患名	1週-53週		1週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つつが虫病	511	8	
	デング熱	45		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	420		
	日本脳炎	5		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	2		
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	4		
	マラリア	20		
	野兔病			
	ライム病	26		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽	1			
レジオネラ症	2031	14		
レプトスピラ症	16			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	610		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	245	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1922	19	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	32		
	急性脳炎	482	4	
	クリプトスポリジウム症	6		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	149	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	752	4	
	後天性免疫不全症候群	1075	2	
	ジアルジア症	27		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	249		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	14		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1624	14	
	水痘(入院例に限る)	358	8	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	5784	80	1
	播種性クリプトコックス症	150	2	
破傷風	105	1		
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	134	1		
百日咳	2932	10		
風しん	100			
麻しん	13			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	10			
指定	新型コロナウイルス感染症	149	25	

トピック

<高齢者を対象にした肺炎球菌ワクチンの定期接種について>

肺炎球菌の予防接種には、高齢者を対象にした「23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン」と主に小児を対象にした「沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン」があります。高齢者の肺炎予防のため、その年度に65歳となる方などは「23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン」の定期接種を受けることができます(表)。定期接種の対象となる方は毎年度異なるため、接種を希望される方は対象となるかをご確認ください。

■肺炎球菌について

肺炎球菌は、健康な人でも鼻やのどの奥などにいることがある細菌で、成人における肺炎の主要な病原体のひとつです。特に、ウイルスの感染によって気道に炎症が起こると、肺炎球菌による肺炎等を併発する場合がありますため、注意が必要です。また、肺炎球菌による感染症は、重症化すると髄膜炎や菌血症といった侵襲性肺炎球菌感染症を引き起こす場合があります。

■注意点

- ・すでに「23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン」を接種したことがある方は、定期接種外です。
- ・小児は、生後2ヵ月から「沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン」を定期接種で受けることができます。
- ・主な副反応には、接種部位の症状(痛み、赤み、腫れなど)、筋肉痛、だるさ、発熱、頭痛などがあります。接種後に気になる症状や体調の変化が現れた場合は、医師にご相談ください。

予防接種に関するご相談は、お住まいの市町村、かかりつけの医療機関等にお問い合わせください。

表 2020年度高齢者向け肺炎球菌ワクチン定期接種の対象者

対象者	生年月日、対象要件
100歳となる方	大正 9年4月2日生 ~ 大正10年4月1日生
95歳となる方	大正14年4月2日生 ~ 大正15年4月1日生
90歳となる方	昭和 5年4月2日生 ~ 昭和 6年4月1日生
85歳となる方	昭和10年4月2日生 ~ 昭和11年4月1日生
80歳となる方	昭和15年4月2日生 ~ 昭和16年4月1日生
75歳となる方	昭和20年4月2日生 ~ 昭和21年4月1日生
70歳となる方	昭和25年4月2日生 ~ 昭和26年4月1日生
65歳となる方	昭和30年4月2日生 ~ 昭和31年4月1日生
60歳から65歳未満の方	心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	-	大館(2.75)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		